

保護の設定方針

今後、保護の方針(部分・部位)を具体的に設定していくため、『明治記念大磯邸園邸宅保存活用計画(案)中間とりまとめ(令和2年4月)』、『重要文化財(建造物)保存活用計画策定指針』を基に、<西園寺公望別邸跡・旧池田成彬邸>の保護設定方針を以下のように設定する。

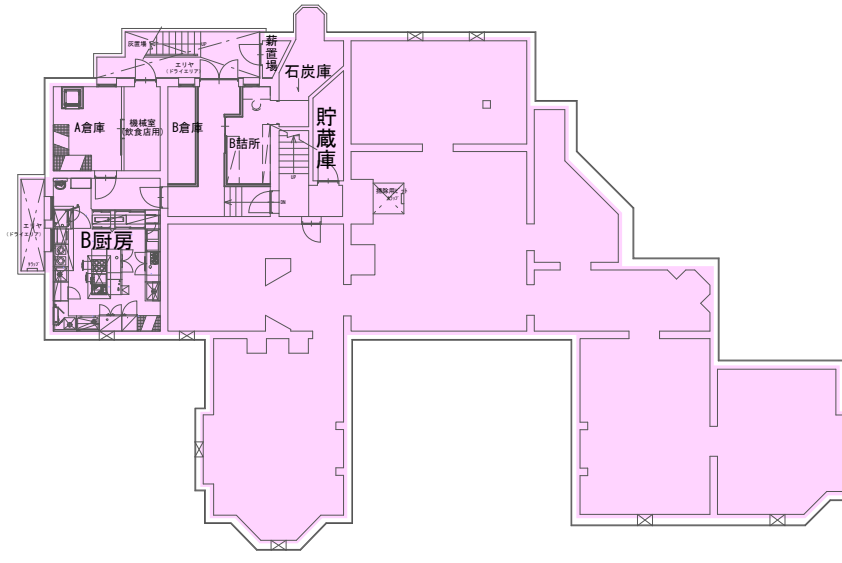
【黒字：中間とりまとめ時の標準の考え方、赤字：基本設計の保護の設定方針】

部分	保存部分 文化財の価値を特に有する部分	保全部分 文化財としての価値を減じないよう維持及び保全することが必要とされる部分	その他部分 文化財としての価値が低い、又は失われている部分
部位	<ul style="list-style-type: none"> 主要構造材や造作、仕上類などの当初材が概ね残る、或いは一部残り、それらの当初材を継承する範囲。変更された範囲は、痕跡や史料を基に、内外装等全て復原予定範囲。 活用のために部分的な改変を伴う範囲。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点は該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点は該当なし
<基準1> 材料自体を保存していく部位	<ul style="list-style-type: none"> 特殊な材料又は仕様である部位 主な構造に係る部位 <p>⇒主要構造材、床板材やタイル、大理石等造作材、建具、照明機器、衛生設備等当初材、或いは復原材を設定予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特殊な材料又は仕様である部位 主な構造に係る部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特殊な材料又は仕様である部位 主な構造に係る部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>
<基準2> 材料の形状・材質・仕上げ・色彩の保存を行う部位	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に材料の取り替え等を行う補修が必要な部位 <p>⇒内部 plaster 塗や外壁左官壁、塗装、屋根葺材など当初材或いは復原材を設定予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に材料の取替等を行う補修が必要な部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に材料の取替等を行う補修が必要な部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>
<基準3> 主たる形状及び色彩を保存する部位	<ul style="list-style-type: none"> 活用又は補強のため、特に変更が必要な部位 <p>⇒当初仕様が不明確である仕上、造作、照明器具や建具など、文化財の雰囲気や考慮して整備する新設後補材を設定予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保存部分との調和を目指し面的に広がる部位 活用又は補強のため、特に変更が必要な部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保存部分との調和を目指し面的に広がる部位 活用又は補強のため、特に変更が必要な部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>
<基準4> 意匠上の配慮を必要とする部位	<ul style="list-style-type: none"> 活用又は補強のため、特に変更が必要な部位 <p>⇒活用のために整備する間仕切壁、天井、設備など、公開範囲にて常設する新設後補材を設定予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保存部分と視覚的に一体の部位 活用又は補強のため、特に変更が必要な部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保存部分と視覚的に一体の部位 活用又は補強のため、特に変更が必要な部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>
<基準5> 管理者の自由裁量にゆだねられる部位	<ul style="list-style-type: none"> 管理者の自由裁量にゆだねられる部位 <p>⇒活用のために整備する間仕切壁や天井、設備など、非公開範囲にて常設する新設後補材を設定予定。</p> <p>※工事前の部位の中で、改変されている後補材は全て基準5に該当</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管理者の自由裁量にゆだねられる部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管理者の自由裁量にゆだねられる部位 <p>⇒現時点は該当なし</p>

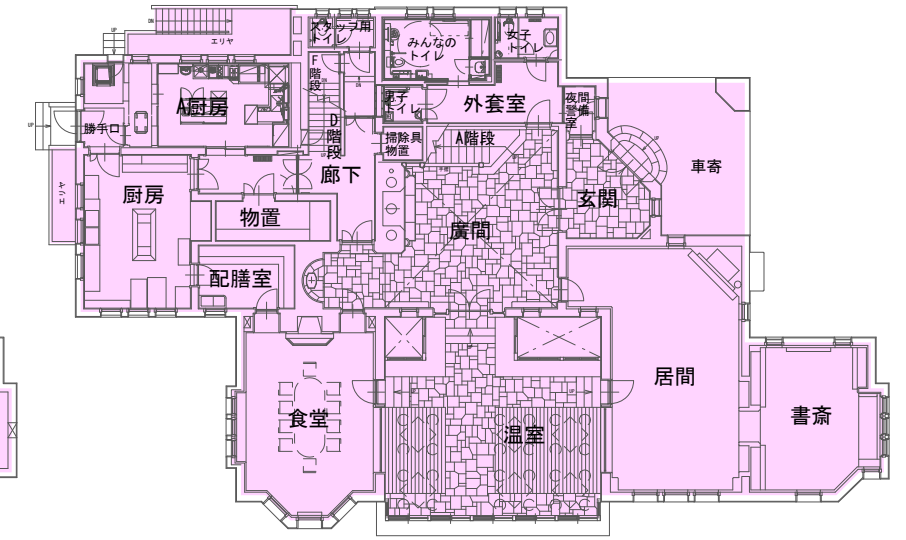
※耐震補強やその他法対応措置にて、改変、付加する材は、基準4として設定予定。
 ※本事業計画において、活用のために撤去せざるを得ない当初材(撤去しなければ基準1或いは2の部位)は、工事前の部位設定においては、基準3以下に仮設定する。ただし、工事中の調査で状況を再確認し、改変がやむを得ない部位が再検証を行う。撤去の場合は調査の上、部材保管する。

保存範囲
 保全範囲
 その他範囲

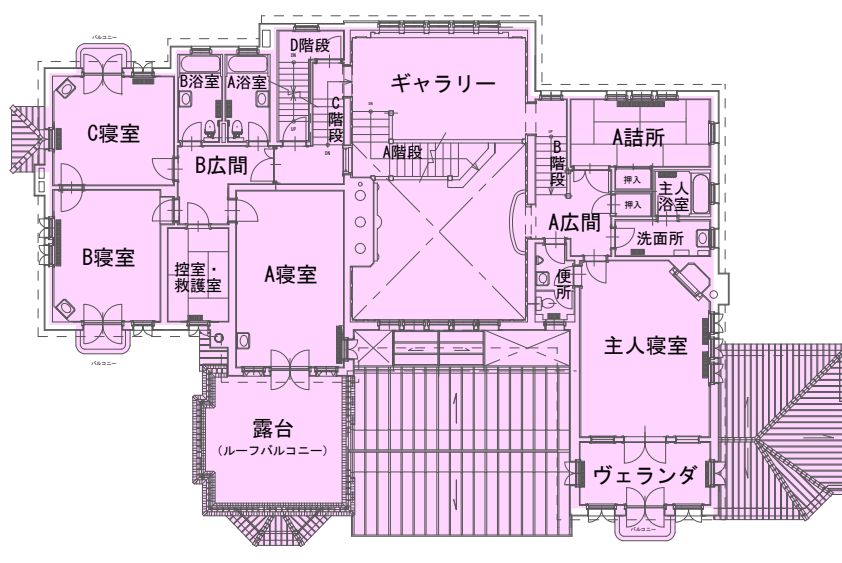
※ 部屋名は、「R1 明治記念大磯邸園邸宅現況調査業務(令和2年3月)」の平面図に記載される部屋名を基に設定。ただし、[]の部屋名は、便宜的に設定した名称。部屋名は公開後に向けて、今後精査する必要がある。



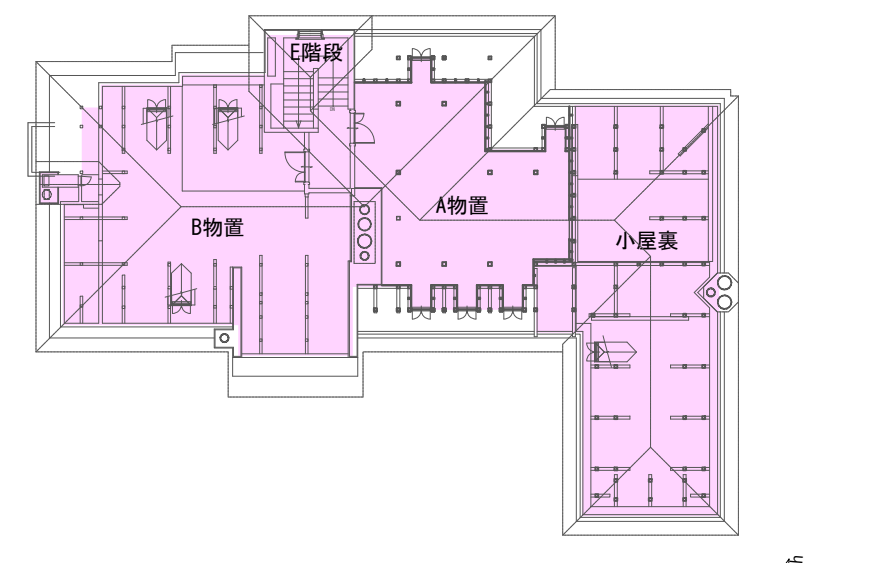
地下1階平面図



1階平面図



2階平面図



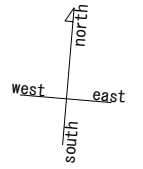
小屋裏平面図

部分設定方針図(平面図)

【旧池田邸の活用のために改変する部分の考え方】

現在の旧池田邸は、改変が少なく保存状況は極めて高い。本計画では一部の部屋において、活用のために当初間仕切壁や仕上などを撤去或いは隠蔽せざるを得ない部位が生じる。改変にあたっては可逆的な手法を採用することを前提とし、旧材を撤去する場合は将来的に旧状に復せるように調査、記録の上、解体保管する。旧材を隠蔽する場合は、その材を原則傷めない手法で残置する。また、主要躯体の旧状を大きく失う撤去は行わない。

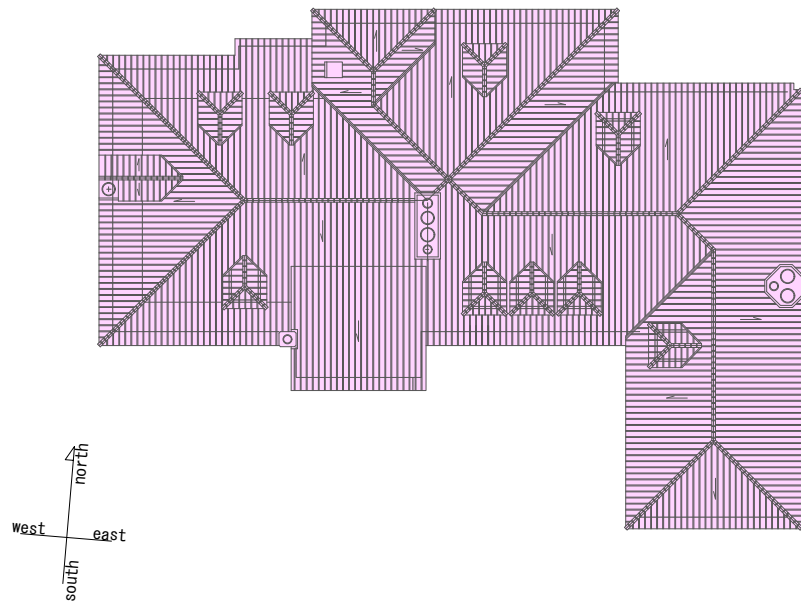
以上の対応をすることで、部分の価値を大きく減じないと考え、そのような部屋は「保存部分」として考える。



保護の設定方針

- : 保存範囲
- : 保全範囲
- : その他範囲

※ 部屋名は、「R1 明治記念大磯邸園邸宅現況調査業務(令和2年3月)」の平面図に記載される部屋名を基に設定。ただし、[]の部屋名は、便宜的に設定した名称。部屋名は公開後に向けて、今後精査する必要がある。



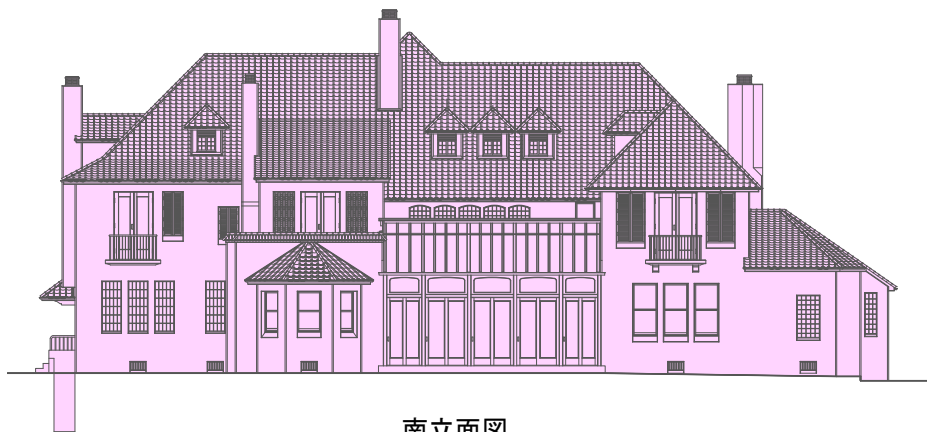
部分設定方針(屋根伏図)



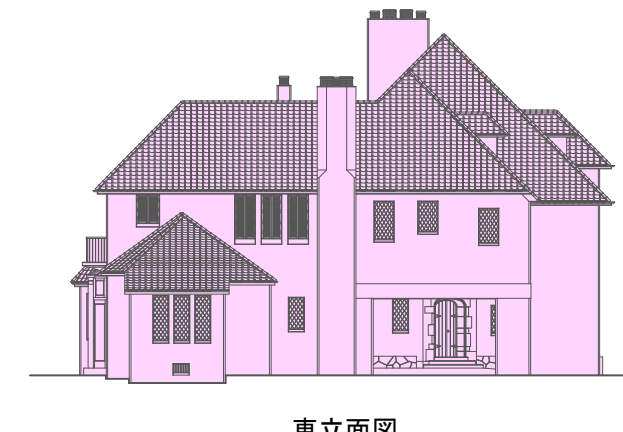
北立面図



西立面図

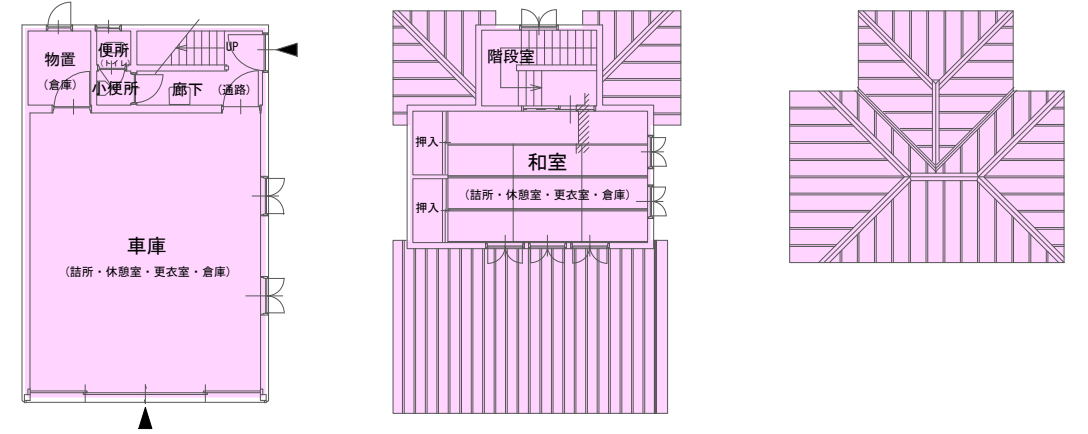


南立面図



東立面図

部分設定方針(立面図)

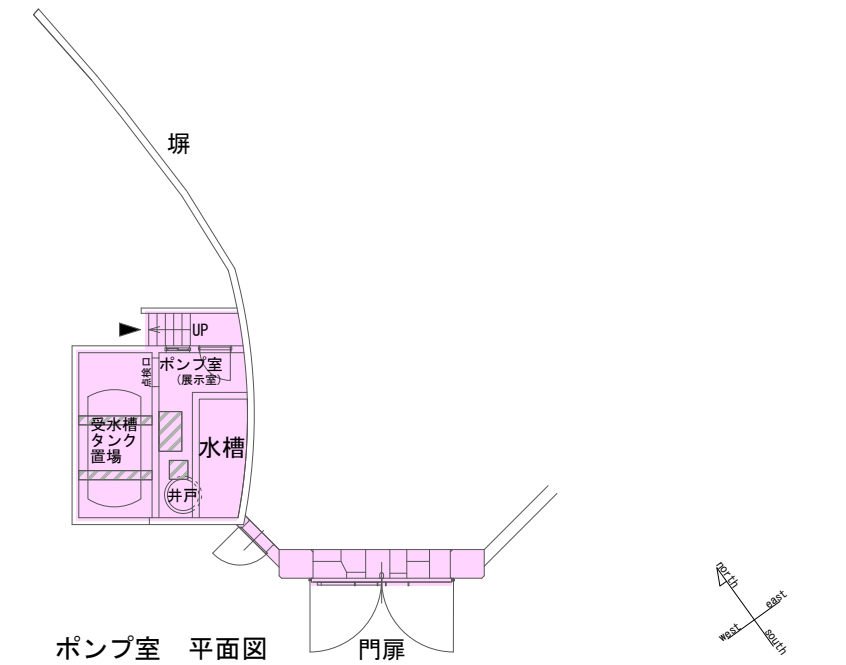


車庫 1階平面図

車庫 2階平面図

車庫 屋根伏図

部分設定方針(車庫)



ポンプ室 平面図

門扉

部分設定方針(ポンプ室・門扉)